



読者の皆さんに

ロゼシアター

テレホンカードプレゼント

■ 応募資格 ■

広報ふじの愛読者ならどなたでも。

■ 応募方法 ■

はがきに、住所、氏名、年齢、電話番号、広報ふじの感想一言を書いてお送りください。宛て先は、〒417 富士市永田町1-100 富士市役所広報広聴課へ

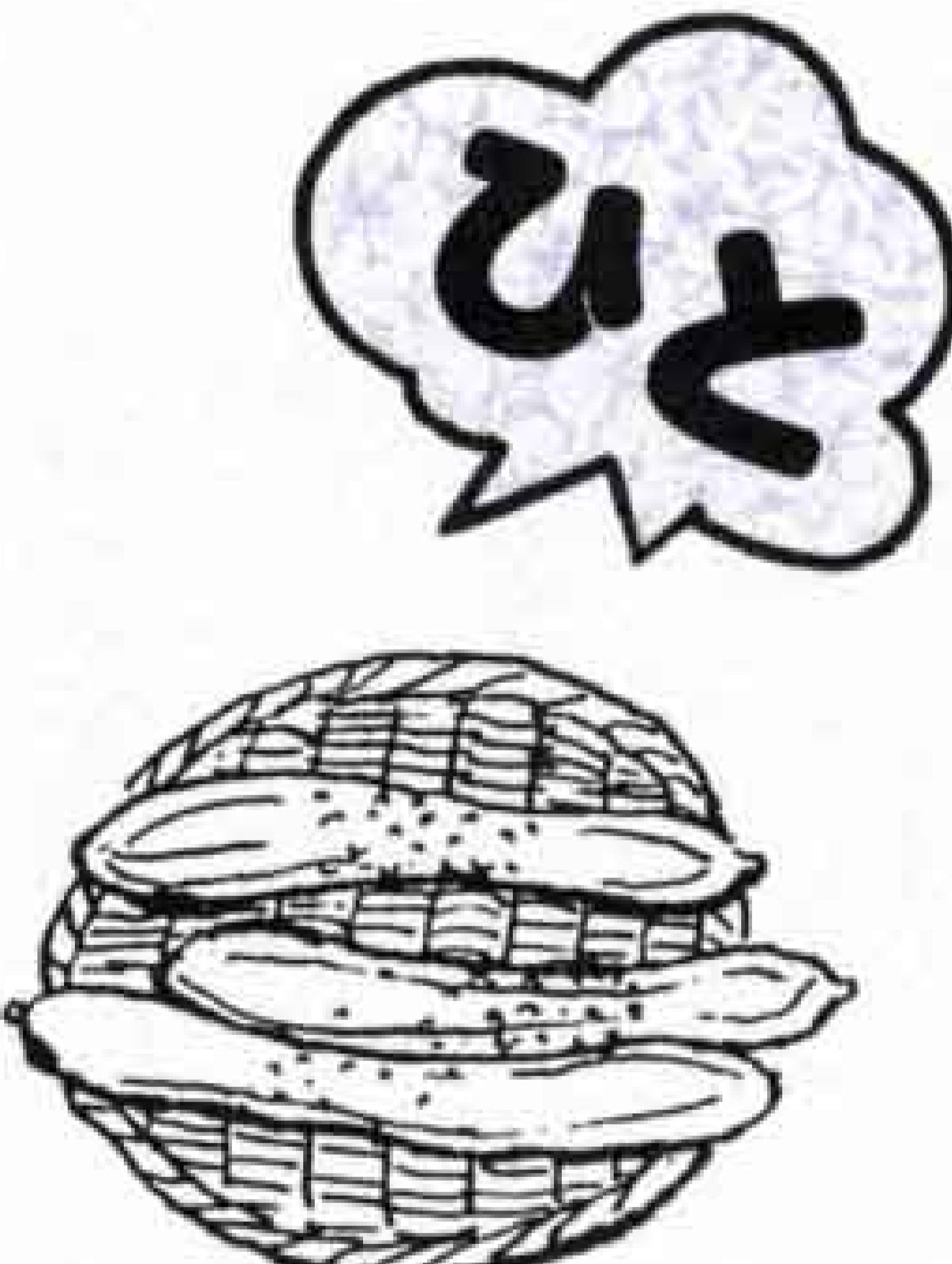
■ 締め切り ■

平成5年8月30日必着

■ ロゼのテレホンカードプレゼント ■

抽せんで20人にお送りします。

…文化の新たな開花を目指して…
ロゼシアター 11月オープン



「外国人のための相談」は、生活習慣の違いによって生ずる、さまざまなもの問題解決の手助けを行う窓口で、言葉はもちろん、ポルトガル語。ここで当初から相談員として活躍しているのが、内山まゆみさんです。

内山さんは、九歳のときにブラジルのパラナ州に渡りました。遠い日本からやつてきたんだからと、随分親切にしてもらつたんです。「それにこたえたことがあります。日本に来たら、それが一番うれしいのです」。

広報
ふじ

広報
ふじ 600号

皆さんと
市政を結ぶホットライン

吉原市、富士市、鷹岡町が合併したのが、昭和41年11月1日。それから間もなくして創刊号が発行されました。発行日は、11月25日でした。今月8月5日で600号を迎えたが、創刊号から数えると26年を経過しています。

100号の昭和46年当時は、田子の浦港のヘドロが全国的に有名になり、公害問題が紙面をにぎわせています。400号は59年。中央病院がオープンし、また新幹線新富士駅の建設工事が始まりました。

さまざまな話題を盛り込みながら、皆さんと市政を結ぶホットラインの役目を果たしてきました。これからも、的確な判断と、読みやすく、おもしろい紙面づくりに務めます。

どうぞ、よろしくお願いします。

**おかげさまで
六百号になりました**

ただいま活躍中です
ポルトガル語の相談員

内山まゆみさん

(厚原)



外

國人のための相談員。
ポルトガル語による「外国人

親

切にこたえたい。
「相談日は、毎週月曜日。

いろいろな問題を抱えてやつてくるので、相談が一時間を超えることもあります。住まいのこと、税金のこと、健康保険のこと、そして、最近は不況のせいか、仕事探しの相談が多くなっています。

ついこの間相談に見えた人は、「歯が痛いけれど健康保険に入していないので、お金がどのくらいかかるのか心配で、もう何ヵ月も我慢している」とて言うのです。その日のうちに加入でき、とても喜んでもくれました。